

平成 30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・国語総合	学年	第1学年	教科書	第一学習社「高等学校 改訂版 国語総合」
		単位数	4単位	副教材	数研出版「八訂版体系古典文法」 浜島書店「改訂新盤 最新国語便覧」 いっすい書店「大学入試漢字 TOP2000」

学習目標  
話ししたり、聞いたり、書いたりする活動を通して、国語で伝え合う力を高めていきます。近代以降の文章を読むことを通じて、描かれている人物や心情を理解するとともに、主な常用漢字の読み書きができるようにします。古典を読むことを通じて、描かれている人物や心情を理解するとともに、文法や訓読の基礎的な知識を身につけます。

学習方法  
○授業における課題に対して自ら考え、周囲の生徒たちと共同で考えながら解答を見つけていく活動を行います。  
○授業においては古典文法や大学入試漢字の副教材を利用するとともに、適宜便覧を参照します。  
○家庭学習における課題を定期的に提出し、基礎学力の定着を心がけます。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨					
a	関心・意欲・態度	20%	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、その向上を図ろうとする。				
b	話す・聞く能力	10%	伝達する力を高めるとともに、目的や場面に応じて、効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。				
c	書く能力	10%	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めながら、言語感覚を磨いている。				
d	読む能力	20%	目的や意図に応じて文章を読み、書き手の論理の展開の仕方をとらえて内容の理解に役立て、自分の意見を持つとともに、広い範囲から情報を集め、効果的に活用している。				
e	知識・理解	40%	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけ、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を身につけている。				

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
前期	評論	6	驚くという才能	・随想の読み方を習得する。 ・この平和な世界を担うのは若者であるという筆者の主張に触れ、これからの高校生活への抱負を新たにする。	○					a:筆者のものの見方や考え方をとらえながら読もうとしている。 d:文章を読んで、構成や展開などを理解している。 e:文脈における語句の意味や用法を的確に理解している。	・ノートなどへの書き込み ・観察 ・小テスト ・漢字テスト ・定期テスト ・提出物等
			世界は常に更新されている	・評論的な随想の読み方を習得する。 ・未完成であることが考え続けるための契機になっているという筆者の主張に触れ、これからの高校生活への抱負を新たにする。	○					a:筆者のものの見方や考え方をとらえながら読もうとしている。 d:文章を読んで、構成や展開などを理解している。 e:文脈における語句の意味や用法を的確に理解している。	
		1	実力テスト								
	小説	12	羅生門	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・近代の代表的な小説を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 ・芥川龍之介に対する理解を深める。	○					a:時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることに興味・関心を持っている。 b:下人や老婆の心情の推移について積極的に他者と話し合うことができる。 c:下人や老婆の心情の推移を的確に読み取れている。 e:語句の意味や用法を的確に理解することに加えて、表現上の特色を捉えている。	
			旅する本	・短編小説の基本的な読解方法を習得する。 ・時間の流れに沿って、主人公の変化を的確に読み取る。 ・主人公の成長を描いた現代小説に触れ、小説を自分に引きつけながら読む姿勢を養う。 ・文章の形態や文体、語句などを工夫しておすすめの本を紹介する。	○					a:「私」の成長を自己に引きつけて読もうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などを工夫して、おすすめの本についての的確に説明し、自己評価・相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 d:その時々の本の内容から「私」の境遇を読み取っている。 e:語句の意味や用法を的確に理解することに加えて、表現上の特色を捉えている。	
	評論	11	水の東西	・二項対立的な評論の読解方法を習得する。 ・西洋文化と対比された、日本文化の特徴について理解を深める。	○					a:日本の文化の特徴について興味・関心を持っている。 d:西洋文化と対比された日本文化の特徴について的確に読み取り、まとめることができる。 e:指示語について正しく理解している。	
			ものとことば	・評論の読解方法を習得する。 ・ことばと人間の関係について興味を持つ。 ・人間にとってことばとはどういふものかについて、理解を深める。	○					a:言葉と意味の関係について興味・関心を持っている。 d:筆者の見解を読み取り、言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割を理解している。 e:指示語について正しく理解している。	
	古文	12	古文の学習	・古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 ・伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。	○					a:伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。 d:仮名遣い、語彙、文法などの違いに注意して古文を学習していくことを理解している。 e:古典とはどのようなものか理解している。	
			児のそら寝	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・文語と口語の違いを理解する。	○					a:伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。 d:主人公の行動と心情を読み取り、説話の内容のおもしろさを理解している。 e:歴史的仮名遣いの特徴とその読み方について理解し、本文を正しく音読できる。	
			絵師良秀	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・品詞の種類、活用、概念、係り結びについて理解する。 ・芥川龍之介の「地獄変」と読み比べる。	○					a:伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。 d:主人公の行動と心情を読み取り、省略された助詞や主語を補って部分的に口語訳ができる。 d:他の作品と比較し、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。 e:品詞の種類、活用、概念、係り結びを理解している。	
			漢文の学習	・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを把握する。 ・我が国の文化と外国の文化との関係に気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。	○					a:日本文化と中国文化の関係に興味・関心を広げている。 d:訓読のきまりと日本文化への影響に留意して漢文を学習していくことを理解している。 e:漢文の訓読について基本的な理解ができる。	
	漢文	10	訓読に親しむ	・漢文に親しみをもち、漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	○					a:範読・書き下し文を参考に訓点に従って、漢文を声に出して読むことができる。 d:返り点の種類と用法・送り仮名のつけ方・助字・置き字・再読文字の意味を理解し、訓点のついた漢文を正しく書き下し文に改めている。 e:漢文の特徴とその読み方について理解している。	
故事成語			・漢文訓読の基本事項を確認する。 ・故事成語のもとになった話の内容を捉えた上で、故事成語の現在使われている意味について理解する。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。	○					a:故事成語のできた背景について理解しようとしている。 d:訓点に従って漢文を正しく書き下し文に改めることができ、文章の展開・内容のおもしろさを理解している。 e:故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解している。		
表現	4	スピーチ	・スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解し、実際にスピーチする。 ・スピーチの意義や、スピーチによる交流の楽しさを理解する。	○	○				a:自分の考えを伝えるための工夫をし、他の人のスピーチの内容を的確に捉え、評価しようとしている。 b:スピーチをしたり聞いたりした内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 e:スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解している。		
合計時数(前期)		56									

